

## 編集 後記

学会総会の際に開催される恒例の拡大編集委員会が、今年も奈良で開催された。年1回、編集委員と査読委員が一堂に会して意見を交換する場である。学会のホームページがリニューアルされ、掲載論文の抄録が非会員でも閲覧できるようになったこと、1995年以降の掲載論文の全文をpdfファイルで公開する予定であることなどが報告された。また、全論文のサイトでの公開について意見が求められたが、利点としては雑誌が広く読まれること、問題点として、学会会員でなくても掲載論文を読むことができるので、図書館などの雑誌の有料購読や、会員が減少するかもしれないことなどが挙げられた。

査読委員からの意見として、査読に回ってくる論文に関して、論文のスタイルや図表の書き方など、内容以前の問題を抱えた論文があることが指摘された。これに対しては甲斐編集委員長より「なるべく指導して欲しい」という要請があったが、確かに、問題がある論文が散見される。「では、お前のところからの投稿論文はどうなんだ?」と言われると、「他人のアラばかり目について、済みません m(\_ \_)m」と申し上げるしかないのだが、投稿規定を無視したような論文、1つの図表に多くの内容を盛り込みすぎた論文、日本語として問題を抱えた論文、誤字や変換ミスが多く含む論文などは、たとえ内容が良くてもこれだけで損をする可能性がある。(1)初心者は投稿に慣れた指導者の指導を仰ぐ、(2)指導者は真剣に指導する(問題論文は自分の評価につながると心得る。自戒の念を込めて)、(3)投稿規定を十分に理解する、(4)原稿を声を出して読んでみる(これで誤字や変換ミスの大部分は防ぐことができる)、等の工夫が必要である。蛇足だが、この編集後記の原稿はちゃんと声を出して読んでみた。

内容、形式ともに良質の論文の投稿を会員諸氏に求めたい。  
(中村好一)

## 次号予告 (第56巻・第12号)

### 原著

若年女性における座位中心の身体活動が循環器疾患のリスク要因に及ぼす影響……古川曜子, 他  
介護老人保健施設に勤務する介護職員の「仕事へのモチベーション」を促進する要因  
……………堀田和司, 他

### 公衆衛生活動報告

血糖自己測定を糖尿病境界域へ用いる意義と効果をもたらす要因に関する検討  
フォーカス・グループ・インタビューによる質的分析……………川崎千恵, 他  
食と運動の習慣改善支援をめざすヘルスポランテアのための研修プログラム開発とその評価  
……………山口幸生, 他

### 連載

運動・身体活動と公衆衛生(20)……………坂根直樹  
保健師助産師看護師法の改正と保健師教育の展望(4)……………佐伯和子

## 第21回 日中韓産業保健学術集談会

会 期：2010年6月10日(木)～12日(土)

会 場：栃木県総合文化センター(宇都宮市)

メインテーマ：全ての働く人々への産業保健サービス提供

—Extending Occupational Health Services to All Workers—

学 会 長：武藤孝司 獨協医科大学 教授

日本側代表：大久保利晃 勸放射線影響研究所 理事長/元・産業医科大学 学長

事務局 長：東 敏昭 産業医科大学 産業生態科学研究所 所長

申込み・問合せ：産業医科大学産業生態科学研究所 作業病態学研究室

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL：093-691-7470/FAX：093-601-2667

URL：http://wshiivx.med.uoeh-u.ac.jp/kjc/index.html

E-mail：kjc@mbx.med.uoeh-u.ac.jp

## 文化看護学会第2回学術集会のお知らせ

日 時：平成22年2月13日（土）10時開始（受付9時半～）

場 所：千葉大学看護学部（千葉市中央区亥鼻1-8-1）

学術集会長：宮崎美砂子（千葉大学大学院看護学研究科教授）

URL：http://square.umin.ac.jp/scns/

メインテーマ：育むということ

プログラム：午前 鼎談「育むということ」

古在豊樹（千葉大学環境健康フィールド科学センター教授）

横田 碧（前岩手県立大学看護学部教授）

榊原哲也（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）

午後 分科会「伝承と変容」（共通テーマ）

テーマ1 [生まれ育つ]，テーマ2 [死ぬ・看取る]，テーマ3 [健康に生きる]

研究発表（一般演題）

問い合わせ先：文化看護学会第2回学術集会事務局

千葉大学大学院看護学研究科 地域看護学講座 地域看護学教育研究分野

E-mail cn2gakkai@yahoo.co.jp

## 日本地域看護学会第13回学術集会のご案内

日 時：平成22年7月10日（土）・7月11日（日）

会 場：北海道立道民活動センター かでの2・7

札幌市中央区北2条西7丁目（JR札幌駅南口から徒歩10分）

学術集会長：佐伯和子（北海道大学大学院教授）

メインテーマ：

健康格差社会を切り拓く地域看護からの政策提言を！—エビデンスに基づく政策と実践—

内 容：会長講演，理事会セミナー，シンポジウム，教育講演，市民公開講座，一般演題，

ワークショップ

演題申し込み〆切：平成22年1月1日（金）～1月28日（木）

参加申込方法：

日本地域看護学会第13回学術集会ホームページ（http://www.ec-pro.co.jp/jachn13）の「参加申し込み」画面にてき，オンラインによるご登録をお願いします。

問い合わせ先：

【運営事務局】

〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西3丁目

名鉄観光サービス株式会社札幌支店「日本地域看護学会第13回学術集会係」

URL：http://www.ec-pro.co.jp/jachn13

E-mail: jachn13-gakkai@ec-pro.co.jp

【日本地域看護学会第13回学術集会事務局】

〒060-0812 北海道札幌市北区北12条西5丁目 北海道大学大学院保健科学研究院

E-mail: jachn13-gakkai@ec-pro.co.jp

FAX：011-706-3695